

あいかわ

社会への第一歩

町長日記から

と、大野台は昔のままの方がよいと云う意見にわかれたが、それは郷里でも同じことで、私は、二つの意見をともに生かして行きたいと答えた。阿仁川会、合川全体の会に発展すべきだと云う意見もあったが、私は各旧村単位につくって、ときどき連合してやったらよいのではないかと提言した。私達は勇躍東京に來た

者もあると思
うが、大半は
田舎で生活出
来ないので上
京し辛酸をな
めたのだから
郷里出身の若
い人々と接触
をもつて落伍
しないように
助言したい。
との意見も出

弘信、福岡いと子(旧姓関藤井正義(木村栄太郎さんの妹)夫妻、工藤宇一郎さんの娘節子、佐藤仁吉郎さんと奥さん等であった。一同は交々郷里合川を懐しみ、特に合川東小学校の百周年記念式の模様など、その出席者からきいて感激深けであった。

合川町の発展は大野台の開発にあると云う意見

た。そして郷里があることは、私達の誇りであるから合川町の長として、しっかりやってもらいたい、と逆に激励されると云う始末であつた。

再会を約束して上野の宿舎に帰るとき、生れ育つたところの意味の大きさははかつて襟を正さしめるものがあつた。

(義郎)

開いていくことを期待する
そして、最初にみなさんが
家の縁側から落ちて、痛い
と思った場所が自分の国
であり、生れて初めて痛い
と教えてくれた、高さその
ものが最大の恩師である。
また、水たまりに落ちて
汚れて泣いた所、汚れると
教えてくれたもの恩師だ、
これ以上の恩師はないと
思う。その最大の恩を受け
た場所というのは、ふるさ

とである。

このふるさと合川を大事にし、立派な社会人として歩んで欲しい」と、式辞を述べ、新成人代表の工藤悠子さん（上杉）へ成人証書と記念品を授与されました。

これに対して、中村義徳さん（木戸石）が新成人を代表して、「社会人となった重責をふまえ、若いエネルギーで大野台の発展と町づくりに役立ちたい。」

また、ここまで育ててくださった、両親に感謝するとともに立派な社会人になります」と決意を述べました。

そして、記念作文に入選した桜田学さん（東根田）を表彰、最後に秋田放送報道局長の石川嘉明氏が「いま求められるもの」と題する記念講演、午後からは記念撮影・ゲーム・歌で、楽しい一日を過ごしました。

◆町 辞 令

（退職）	用務員	加藤 正（
委・南小）		
（任用）	運転手	佐藤征一
建設課へ		
（異動）		
助役	土濃塚一郎	
免、	税務課長事務取扱	
命、	町民課長事務取扱	

郎、工藤弘、工藤直三（奥さんは桜井千代松さんの妹）夫妻、工藤六郎、市原光子（旧姓佐藤）佐藤二郎、松橋弘信、福岡いと子（旧姓関藤井正義（木村栄太郎さんの妹）夫妻、工藤宇一郎さんの娘節子、佐藤仁吉郎さんと奥さん等であ

京し辛酸をなめたのだから郷里出身の若い人々と接触をもつて落伍しないように助言したい。との意見も出た。そして郷里があることは、私達の誇りであるから合川町の長として、しっかりとやってもらいたい、と逆に激励されると

現をめざして進むことを誓

新春恒例の合川町消防団
出初め式は一月五日、無火
災を祈願して行なわれまし
た。

現をめぐして進むことを誓
い、式を終わりました。

席上、表彰された方々は
次の通りです。

次の通りです

○有幼章

第三分团

○三十年勤続

第二分团

第二分团

第二分团

第三分团

○二十五年勸

第一分团

制服姿もりりしい新団員

第一分団	長浜 勇
第二分団	畠山 誠一郎
○十年勤続章	
第一分団	小林 昭一郎
第一分団	森岡 正
第一分団	佐藤 二郎
第一分団	木村 八一郎
第四分団	伊東 紀喜
第四分団	三浦 甚一郎
第四分団	土濃 塚義美
第四分団	桜田 五郎
第四分団	桜田 栄一
【支部長表彰】	

第一分団	佐藤 米蔵	優良火災予防組合	増沢少年消防クラブ	合川各小学校児童会
第四分団	佐藤 修助	優良火災予防組合	増沢少年消防クラブ	合川各小学校児童会
第四分団	杉淵 忠造	優良火災予防組合	増沢少年消防クラブ	合川各小学校児童会
第四分団	松橋 農夫	優良火災予防組合	増沢少年消防クラブ	合川各小学校児童会
第四分団	福岡 幸悦	優良火災予防組合	増沢少年消防クラブ	合川各小学校児童会
第四分団	杉淵 孝	優良火災予防組合	増沢少年消防クラブ	合川各小学校児童会

【町長表彰】

合川中学校生徒会
合川各小学校児童会

▼ 委) 福祉課へ

▼ 主事補 福岡昌樹(

▼ 祉課) 財政課へ

▼ 主事補 三浦長一郎

▼ (教委) 農林課へ

▼ 主事補 高橋宮雄(

▼ 政課) 保健課へ

▼ 主事補 坂上 満(

▼ 務課) 福祉課へ

▼ 主事補 沢藤茂子(

▼ 納室) 総務課へ

▼ 主事補 成田久美子

▼ (総務課) 出納室へ

▼ 主事 金田功子（町民課）議会へ

▼ 主事 成田清二郎（保健課）教育委員会へ

▼ 警備員 佐藤健一郎（総務課）教委・南小学校へ

▼ 職員 福田恵美子（東保育園）西保育園へ育（兼務及び併任）

▼ 農業委員会事務局長 杉淵光徳 農林課兼務

農業委員會事務局長 補 沢藤孝志 農林課	任	議會事務局長 松橋 一 選挙管理委員會書 長併任	議會事務局主事 金 功子 選挙管理委員會 記併任	稅務課長 鈴木運助 免、選挙管理委員會書 長
-------------------------	---	--------------------------------	--------------------------------	------------------------------

「辰年二十歳代」

おいに語る

新春紙上座談会

出席者

永井隆志(上杉) 大野台の里愛生園職員
向井龍洋(弥栄) 酪農
藤岡美保子(李倍) 鷹巣北秋信用組合職員
吉田喜代志(川井) 役場職員
村形恭子(駅前) 寺田服装学園学生

楽しみは仕事以外のこと 松岡

何んでもやってみたい 向井



吉田裕子



村形恭子



向井龍洋

友人関係の基本は

お互いを確認すること

ラクビーを母校の能代工業でやっています。
向井 農業、酪農をやっています。現在牛が二十七頭で、その内搾牛は一七頭です。
北海道で酪農を勉強し

わたっているいろいろなやってみたいという気持ちですが、時間的にやってみようという感じです。米高に出行けそうですか。

向井 今のところ両親が達者です。演劇活動は夜が中心です。米高に付けて練習をしています。



畠山義郎

ふるさとづくり

批判論より渦中に入って

あっている。それが生き最初の姿勢という感じがします。
自分が友達によって確認され、友達がまた自分によって確認される。そこに安心感があり、励ましがあ、明日があるという、それはみんなに共通していることだと思います。

司会 次に吉田君のように実際青年会運動を展開していく上で、仲間づくりや人間、友人関係についてどう考えているか伺いましょう。

吉田(喜) 学校時代から、自分の場合は先輩の人多くつきあっていたし、友人には恵まれていたと思います。同じ先輩ともよく話し合っています。世の中打大く変ってしまっこともあり、歩く時代からバイク、自家用車の時代になり、益々若い人のつながりが減ってしまっ様に感じます。

松岡 一杯のんでさかいでいる友達が高にたよりいがある。友達もいっ仕事する。上司から何んでも覚えるといわれているので、がむしやに頑張っています。

吉田(喜) 役場の農林課に勤務しております。

司会 向井君の場合は酪農の仕事も時間がなく忙しいようですが、それだけでなく若い内に各方面に

松岡 スポーツですが、夏になると一週間に一回位

司会 仕事以外の活動という

松岡 農協のカントリーに勤めています。仕事に生

きがいといっても当然のことと思うので特に感じません。むしろ仕事を終

つてからの活動の方が楽しい。

司会 仕事以外の活動とい

松岡 スポーツですが、夏

になると一週間に一回位

司会 次に吉田君のように実際青年会運動を展開していく上で、仲間づくりや人間、友人関係についてどう考えているか伺いましょう。

吉田(喜) 学校時代から、自分の場合は先輩の人多くつきあっていたし、友人には恵まれていたと思います。同じ先輩ともよく話し合っています。世の中打大く変ってしまっこともあり、歩く時代からバイク、自家用車の時代になり、益々若い人のつながりが減ってしまっ様に感じます。

松岡 一杯のんでさかいでいる友達が高にたよりいがある。友達もいっ仕事する。上司から何んでも覚えるといわれているので、がむしやに頑張っています。

吉田(喜) 役場の農林課に勤務しております。

司会 向井君の場合は酪農の仕事も時間がなく忙しいようですが、それだけでなく若い内に各方面に

松岡 スポーツですが、夏

になると一週間に一回位

司会 仕事以外の活動という

松岡 農協のカントリーに勤めています。仕事に生

きがいといっても当然のことと思うので特に感じません。むしろ仕事を終

つてからの活動の方が楽しい。

司会 仕事以外の活動とい

司会 次に吉田君のように実際青年会運動を展開していく上で、仲間づくりや人間、友人関係についてどう考えているか伺いましょう。

吉田(喜) 学校時代から、自分の場合は先輩の人多くつきあっていたし、友人には恵まれていたと思います。同じ先輩ともよく話し合っています。世の中打大く変ってしまっこともあり、歩く時代からバイク、自家用車の時代になり、益々若い人のつながりが減ってしまっ様に感じます。

松岡 一杯のんでさかいでいる友達が高にたよりいがある。友達もいっ仕事する。上司から何んでも覚えるといわれているので、がむしやに頑張っています。

吉田(喜) 役場の農林課に勤務しております。

司会 向井君の場合は酪農の仕事も時間がなく忙しいようですが、それだけでなく若い内に各方面に

松岡 スポーツですが、夏

になると一週間に一回位

司会 仕事以外の活動という

松岡 農協のカントリーに勤めています。仕事に生

きがいといっても当然のことと思うので特に感じません。むしろ仕事を終

つてからの活動の方が楽しい。

司会 仕事以外の活動とい

司会 次に吉田君のように実際青年会運動を展開していく上で、仲間づくりや人間、友人関係についてどう考えているか伺いましょう。

吉田(喜) 学校時代から、自分の場合は先輩の人多くつきあっていたし、友人には恵まれていたと思います。同じ先輩ともよく話し合っています。世の中打大く変ってしまっこともあり、歩く時代からバイク、自家用車の時代になり、益々若い人のつながりが減ってしまっ様に感じます。

松岡 一杯のんでさかいでいる友達が高にたよりいがある。友達もいっ仕事する。上司から何んでも覚えるといわれているので、がむしやに頑張っています。

吉田(喜) 役場の農林課に勤務しております。

司会 向井君の場合は酪農の仕事も時間がなく忙しいようですが、それだけでなく若い内に各方面に

松岡 スポーツですが、夏

になると一週間に一回位

司会 仕事以外の活動という

松岡 農協のカントリーに勤めています。仕事に生

きがいといっても当然のことと思うので特に感じません。むしろ仕事を終

つてからの活動の方が楽しい。

司会 仕事以外の活動とい

司会 次に吉田君のように実際青年会運動を展開していく上で、仲間づくりや人間、友人関係についてどう考えているか伺いましょう。

吉田(喜) 学校時代から、自分の場合は先輩の人多くつきあっていたし、友人には恵まれていたと思います。同じ先輩ともよく話し合っています。世の中打大く変ってしまっこともあり、歩く時代からバイク、自家用車の時代になり、益々若い人のつながりが減ってしまっ様に感じます。

松岡 一杯のんでさかいでいる友達が高にたよりいがある。友達もいっ仕事する。上司から何んでも覚えるといわれているので、がむしやに頑張っています。

吉田(喜) 役場の農林課に勤務しております。

司会 向井君の場合は酪農の仕事も時間がなく忙しいようですが、それだけでなく若い内に各方面に

松岡 スポーツですが、夏

になると一週間に一回位

司会 仕事以外の活動という

松岡 農協のカントリーに勤めています。仕事に生

きがいといっても当然のことと思うので特に感じません。むしろ仕事を終

つてからの活動の方が楽しい。

司会 仕事以外の活動とい

司会 次に吉田君のように実際青年会運動を展開していく上で、仲間づくりや人間、友人関係についてどう考えているか伺いましょう。

吉田(喜) 学校時代から、自分の場合は先輩の人多くつきあっていたし、友人には恵まれていたと思います。同じ先輩ともよく話し合っています。世の中打大く変ってしまっこともあり、歩く時代からバイク、自家用車の時代になり、益々若い人のつながりが減ってしまっ様に感じます。

松岡 一杯のんでさかいでいる友達が高にたよりいがある。友達もいっ仕事する。上司から何んでも覚えるといわれているので、がむしやに頑張っています。

吉田(喜) 役場の農林課に勤務しております。

司会 向井君の場合は酪農の仕事も時間がなく忙しいようですが、それだけでなく若い内に各方面に

松岡 スポーツですが、夏

になると一週間に一回位

司会 仕事以外の活動という

松岡 農協のカントリーに勤めています。仕事に生

きがいといっても当然のことと思うので特に感じません。むしろ仕事を終

つてからの活動の方が楽しい。

司会 仕事以外の活動とい

村形 私もそうです。町長 都会で緊張した生活をして帰ってくる。帰ってからは不安定という

か落つかないというか。そこら辺に都会に期待したいこと、ふるさとに期待するものの関係がでて来るといいます。

松岡君のように飛び出して行きたいという気持ちがあるというが、そこに田舎も若者の適さないと

ころ、例えば風習や流儀があつて、そういうものに対する不満があると思います。

そういう不満をうづめ、こわして行くのは、昔から青年であつた。そこへ入って行って、不満であるという姿勢をたえず示すことであつた。

示すという姿が、今ふるさとに対して期待できるかということに話題が移る……

最初は友達をつくつてお互いにやってきて、そろそろ大人の世界に自分が入ってきた、また相手もそう思う時代になつてきて、歴史的に自分達がどういうふうになるかに

生きているかということに、客観論、批判論よりも自分達の世界にかかつてきているんだと考えて過中に入っていきたいもので

すね。

次の世代に

関心を

松岡 自分はカントリーにオペレーターとして勤めているが、機械に使われているように思われます。昔ながらの「トミ」がけもやるし、年中ゴミだら

けで体調がくずれる。でも長男だから田舎にいる訳だ。

町長 長男と長女が大部分を占めておつて、長男、長女の結婚というケースも多くなつてきて、親は大変心配しているようだが、みなさんの場合は如何ですか。

村形 兄がいるので別に考えたことがないのです。吉田(裕) 自分の両親も老後をみてもらうというところだと思ひますが、長男長女に後をつがせたいと思つていようです。自分たちの考え方だけでは判断できないですね。

司会 吉田君はふるさとを考えた場合、後輩についてどんな考えをもつていますか。

吉田(喜) そうですね。特に中学校の生活時間が制限されて、クラブ活動の時間が少ない。そのため一緒にやっていくというつながりに欠けている。



吉田喜代志

自分達の時は夜遅くまでやれたので、それに比べて可愛想に思う。私は今バスケットの指導員をしておりま

永井 僕は柔道ですが、できれば柔道少年団の指導育成に協力したいですね。町長 そういうことを通じて次の世代に対してどういう責任を負つてきたかというところが大きな問題になつてきます。

君たちとはかなり年が離れているが、それなり

に非常に関心があります。みなさんから見ると、中学生位が一番関係のある年代と思ひますが。

向井 最近の子どもの生活態度が変つてきているので、一緒に遊ぶことがなくなつてきました。今は家でテレビを見るとか、駅前遊びに来るとか、行動範囲が広がつてい

ますね。交通の関係もあると思ひますが……

それと児童会活動もなくなつてしまひましたね。ですから、中学校時代から結びつきがなくなつて

いる。

司会 次の世代を見てどうですか、自分が期待しているように育つてくれる

厳しさもよし

理想の父親像



藤岡美保子

でも……。前は女だけでしたが、今では男の子の方に多く見られます。

町長 それがまた、長い間抑圧されてきた制服で飼

いならされた高校生活に對する反撥だと言われているが、しかしそういう方法でしか世代に反撥できないということに對して可愛想だという氣もします。

司会 次を進みましょう。最近の社会現象、とくに社会福祉の問題について話し合ひてみたいと思ひます。

吉田(裕) 家のばあさんは体が弱いので、老人医療制度は助かると思ひます。汽車の割引のことです。が、学生に学割があつて老人にはなぜ割引がないの

のだろうか。

町長 今の割引を含めて、福祉と家族制度の問題、大人が、子どもと老人を養ふことは現在までの家族制度の原則であつた

が、それが西洋流に生活環境が變つてきていて、し

るべきであるというこ

とで、福祉をみんなで分

担し整備していこうとする考え方となる。

労働人口が減つてくるので、男女共働かなければ福祉の負担がで

きなく、家庭が崩壊する。自分就職も配はない……と言われたことが今でも心に強く残つて

ると親父の比ではない。酒を飲みすぎるので体が心配です。ただ技術的なことも勉強してきてい

るので、仕事をある程度ゆづつて欲しいと思ひます。親父の方ではまだまだ負けないという氣持がある

ようですね。仕事以外は話することがあまりありません。やはりおっかないというイメージが強い

ですね。

町長 みなさんは男親と女親ではどつちが好きですか。

伊東 好き嫌いというのではなく、やはり母親に相談します。

松岡 やはりどつちかというふうですね。母親にはいつも勝てると思ひながら……。両親どちらにくかという父親像です。親父に悪いような氣がして……。



杉淵政和

杉淵 親父は口が重い。母親だけがガンガン言う。親父は年をとると年金も

おろし、楽をさせて大事にしたい。

藤岡 父は別に口数が少ない方でもありませんが、小さい頃から怖いという印象がありましたから話

はあまりできなかった気がします。自分の就職も都市の方へと考えました

が、長女でしたのでそれもできませんでした。母

があんまり家から出て歩かない方でしたので、父

が物をかう方が多かった。PTAなんかも父でした。向井 僕ではどちらもうる

さい方です。この年になつても、人に会つたら挨拶をせとかよく言われま

す。うるさいんですが、でも自分も親父のようになるのではないかな。

伊東 家の父は無口ですが話易いんです。でも父親はもつとビシツとした恐

進む社会福祉

働らく人の高負担をどうする

司会 次に進みましょう。最近の社会現象、とくに社会福祉の問題について話し合ひてみたいと思ひ

ます。

吉田(裕) 家のばあさんは体が弱いので、老人医療制度は助かると思ひます。汽車の割引のことです。が、学生に学割があつて老人にはなぜ割引がないの

のだろうか。

町長 今の割引を含めて、福祉と家族制度の問題、大人が、子どもと老人を養ふことは現在までの家族制度の原則であつた

が、それが西洋流に生活環境が變つてきていて、し

るべきであるというこ

とで、福祉をみんなで分

担し整備していこうとする考え方となる。

労働人口が減つてくるので、男女共働かなければ福祉の負担がで

きなく、家庭が崩壊する。自分就職も配はない……と言われたことが今でも心に強く残つて

います。

い父親像を期待していますね。

町長 厳し過ぎて嫌われるのが普通だが、あまり厳しくないとかえつて尊敬されなくなることもある

のです。

松岡 厳しさの中に冗談が欲しいですね。

全部やろうとすると、労働人口が減つてくるので、これからの社会を構成する二〇五〇代の人達が高負担していかなければならないことになる。そのことを含んで、老人問題や子どもの問題がある訳です。

例えば町内に医療費月百五〇万円かかる人がいるとすれば、本人は三万円では町で分担して

いますが、それがなくなり本人が全部負担することになると、個人の家庭では大変なことになる。その人によつては、全然恩恵をうけないで負担だけしている人もい

るし、高

い受給者もいる。

労働人口が減るから働けるものは男女とも働かなければ暮してゆくことが出来ない形に今の時の流れが進んでいる。その

現実と将来をみなさんはどう見ていくか。そしてどう対処すべきですか。

吉田(喜) 福祉ということ

が盛んに云われますが、まだ日本ではお

くれていると一般に云われているが、イギリスのように「ゆり籠から墓場まで」とい

つても、すべては税によ

り賄われ、税の負担は国民であり、一般成人の働

く人に負担が強いられ、老人は恩恵を受けるが、働らく人は恩恵をこうむらないという矛盾がありますね。

町長 福祉の問題はどうしても病氣や障害が中心となり金もかかる。

そこで健康管理という問題は、非常に重要な意義をもつています。

健康管理を立派にすれば決して高負担にはならないという説があります。私は最近、縄なりの思想は日本人の庶民の心にあつたものだと思ひていま

す。例えば助け合いの心です。それが今の社会にだんだんなくなつてきています。そうした福祉の見方ということも相協力していこうという心が大事であつて、今の福祉はこのよう

な不安を少しでもなくすることを目標に「交通災害共済制度」があり、係ではいまみなさんの加入を受付けております。

共済掛金 一人、年三百円 共済期間 昭和51年4月1日から翌年3月31日まで

の一年間 共済金 六千円から六十万円まで(程度によつて) 申込み 役場総務課

永井 口を開けば何でも福祉となつてい

るが、経

済そのものよりも福祉に

甘んずることはよくない。要は人間性の問題ではないか。福祉を高めると国

が滅びるという現象になつてきて

います。いよいよ時間がなくなつてしまひました。福祉だけではなく、戦後民主主義までも与えられた



平川利隆

形になつて、自分で育てたものがないと云われています。

そこら辺をもう一度考え直して、これからの生活に對処していきたいものです。

それではこの辺で今日の座談会を終わります。ありがとうございました。

交通災害共済

ただ今受付中

交通事故は、いつ自分の身にふりかかるかという不安が毎日続いています。このよう

な不安を少しでもなくすることを目標に「交通災害共済制度」があり、係ではいまみなさんの加入を受付けております。

共済掛金 一人、年三百円 共済期間 昭和51年4月1日から翌年3月31日まで

の一年間 共済金 六千円から六十万円まで(程度によつて) 申込み 役場総務課

永井 口を開けば何でも福祉となつてい

るが、経

済そのものよりも福祉に

甘んずることはよくない。要は人間性の問題ではないか。福祉を高めると国

が滅びるという現象になつてきて

はこは
町内で買ひましよう

みんなの広場

地域活動だより



雪の祭典

チビッコ広場に雪の芸術

雨続きの天気で心配されていた駅前地区の雪の祭典も、早朝から雪に恵まれ、一月一八日朝七時より親子の協力による製作が開始されました。

雪質が悪く、子供達にとつては大変な作業も、親子のチームワークの熱にはかなわなく、次々と形が出来ていく。

各区からの参加者は、子供二五名、大人二〇名で、各区代表の意気込みが参加者にみなぎり、製作開始から五時間に及ぶ大奮闘のすえ完成しました。

表彰後、参加者には、お菓子とみかんが配られ、親子で製作のよこぎりをかみしめながら楽しい一日を過ごしました。

去る一月二十七日杉山田公民館で杉山田家庭教育学級が開かれ、おとしよりを中心に「うちの孫」について、平川館長、河田社教主事をまじえて話し合いました。自信をもって孫を育ててほしいことなどが出され午後からは、婦人会のみなさんによる交流懇親会が行われ昔話に花を咲かせました。

杉山田家庭教育学級

お願い

コーナー

公民館では、各地域（部落）の活動を広報で広く町民のみなさんに紹介し、より深い連帯と協調の輪を広めたいと思っております。

身近な活動やニュースをどしどしお寄せ下さい。できましたら、スナップ写真など提供して下さい。

紙面の都合もありますが、より多く紹介して行きたいものとスタッフ一同張り切っておりますのでよろしくお願ひします。

◎送付先とお問い合わせはみんなの広場
合川町公民館
デンワ二一四番へ

寄せられた善意 たすけ合い運動

目標額大幅に上まわる

昭和五十年年度の「才末たすけ合い運動」は、町民の皆様の暖かいご協力により、好成績をおさめることができました。

「みんなで明るいお正月を...」と、行われた才末たすけ合い運動には、戸別募金四十五万六千二百二十五円、合川町建設協会など篤志募金四十七万七千五百三十八円、合計金額九十三万三千七百六十三円と五十年度も目標額を大幅に上まわりました。

併せて衣類をはじめとして数多くの義援品が町内の商店、部落、会社などから寄せられました。

町では、さつそくいろいろ事情で困っている家庭や長期入院療養者の方々に、民生委員、保障協会、寿クラブの協力を得てお届けしました。

見舞いを受けられた方々から、たくさんのお礼状が届いております。

義援金配分内訳
◇長期入院者（夏季）五万二千元
◇長期入院者（冬季）十九万八千元
◇施設入所者 六万六千元
◇生活保護世帯 十万二千元

◇ひとり暮らし老人世帯 八万七千元
◇盲、ねたきり老人世帯 六万八千元
◇心身障害（児）者 三万二千元
◇身体障害者 九万六千元
◇母子家庭 四万八千元

◇大野台の里 十六万五千七百六十三円
◇秋田県救済協会 五千円

◇日赤赤秋田支部 二万四千元
また、赤い羽根共同募金も同じく目標額を大幅に上まわり募金額八十七万一千四百二十八円、百五十七％で県内でも、数年来屈指の実績を誇っております。

これも、ひとえに町民の皆様のご理解ご協力と心から感謝しております。

◆篤志募金（才末たすけ合い）建設協会十二万二千元、製材協会二万二千元、バンド披露KK一万円、合川縫製KK一万円、ライフルマンKK三万円、合川水道施設工業所二万円、桜田ポンプ店二万円、米倉給油所一万円、佐々木厨房一万円、後藤商事一万円、合川スポーツ店一万円、村駒商会一万円、合川ライオンズクラブ九万六千元、米倉印刷五千円、合川タクシ一五千元、アサヒ電気商会五千元、商工青年部五千元、松橋三郎（三三）二万円、木村一蔵（李岱）一万円、関源吉（上杉）三千元、伊東まりか・若葉（杉山田）二千八百五十円、金森トヨ（西根田）千五百六十六円、働く青少年のつどい実行委員会三万四千元、サークル青空四千五百円、身障協会三千三百一十円、少年キャンプ千七百円、合川町公民館（文化）展食堂利益金）五千五百十六円

◇義援品
合川マート小笠原商店
下着・靴下、金田喜代之商店（西根田）靴下、金田アキ商店（西根田）手袋、成米呉服店（李岱）靴下・カーディガン・紳士、婦人レインコート、岩沢呉服店（李

恩給の法律が一部改正

恩給等の法律が一部改正されました。

旧軍人等にかかわる恩給関係法が次のように改正され、一時恩給が加算されて支給されることになりましたので該当すると思われる方は役場福祉課へお問合せください。

(1)旧軍人等として実在職年が引き続き三年以上七年以上の兵又は下士官であった者並びにその遺族に一時恩給（一時扶助料）が支給されます。

(2)65才以上70才未満の方で普通恩給又は普通扶助料について実在職年及び在職年を含め40年までを限度として年額計算をされることになりました。

ありがとうございます 善意のご寄付

次の方々から、故人の香典返しにかえて尊い浄財の寄付をいただきました。

町社会福祉協議会の活動費に繰り入れ、有効に役立たせることにいたしました。

（社会福祉法人、合川町社会福祉協議会）
○木村鉄治（下杉）
父・清助さんの香典返しにかえて五千元
○杉沢武一郎（増沢）
母・マサさんの香典返しにかえて五千元
○桜田徳雄（東根田）
父・徳治さんの香典返しにかえて一万元
○斎藤 昇（新田目）
母・島山キエさんの香典返しにかえて一万元

慶弔だより

自十二月十日
至一月二十四日



○おめでとうご健康をお祈りいたします
村形征訓・行雄長男（川井）、佐藤具子・修二長女（川井）、豊村志保・政志長女（増沢）、杉沢礼子・敏和長女（増沢）、小野正子・猛長女（駅前）、工藤崇雄・忠志長男（上杉）、佐藤正樹・峰雄二男（川井）
斎藤千寿香・征行長女（駅前）、伊勢智樹・俊成長男（駅前）、松橋幸治・二郎二男（店当）、田中美緒・俊生長女（駅前）三浦竜馬・義広長男（三木田）
●謹んでごめいふくをお祈り申し上げます。
木村清助・本人（下杉）
杉沢マサ・武一郎母（増沢）
松岡フテ・利一母（羽根山）
桜田シエ・建太郎母（東根田）、松岡優子・本人（駅前）、島山きみ多・本人（駅前）、松橋ムラ・利吉母（道城）